

平成26年12月19日

平成26年度学校基本調査（確定値）の公表について

文部科学省は、学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的として、標記調査を昭和23年度より毎年実施しています。

今般、平成26年度の確定値をとりまとめたので、公表します。

1 調査内容

(1) 調査期日：平成26年5月1日現在

(2) 調査対象：幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校及び各種学校並びに市町村教育委員会

(3) 調査項目：学校数、在学者数、教員数、卒業者数、進学者数、就職者数等

2 調査結果の主な概要（カッコ書きのカタカナは次ページ以降の図表とリンク。）

(1) **在学者数**（P1の表1、P2の表2及びP3の図1を参照。）

①幼稚園は155万7千人（ア）で、前年度より2万6千人（イ）減少。（表1）

②小学校は660万人（ウ）で、前年度より7万7千人（エ）減少し、過去最低を更新。（表1）

③中学校は350万4千人（オ）で、前年度より3万2千人（カ）減少し、過去最低を更新。（表1）

④高等学校は333万4千人（キ）で、前年度より1万4千人（ク）増加。（表1）

⑤特別支援学校は13万6千人（ケ）で、前年度より3千人（コ）増加し、過去最高を更新。（表1）

⑥大学（学部）は255万2千人（サ）で、前年度より1万人（シ）減少。（表2）

⑦大学院は25万1千人（ス）で、前年度より4千人（セ）減少。（表2）

⑧専門学校（専修学校（専門課程））は58万9千人（ソ）で、前年度より2千人（タ）増加。5年連続で増加。（3ページのグラフでは専修学校に含まれる。）（表1）

(2) **高等学校卒業者の進学率**（P4の表3及びP5の図3を参照。）

—大学進学率が前年度より上昇—

①大学・短大進学率（現役） 53.9%（チ）（前年度より0.7ポイント上昇）

②大学（学部）進学率（現役） 48.1%（ツ）（前年度より0.7ポイント上昇）

③専門学校進学率（現役） 17.0%（テ）（前年度と同じ）

また、過年度卒業者を含む進学率（就学率）についても前年度より上昇。

④大学・短大進学率（過年度卒を含む） 56.7%（前年度より1.6ポイント上昇）

⑤大学（学部）進学率（過年度卒を含む） 51.5%（前年度より1.6ポイント上昇）で過去最高。

⑥高等教育機関進学率（過年度卒を含む） 80.0%（前年度より2.1ポイント上昇）で過去最高。

（３）卒業者に占める就職者の割合

（Ｐ４の表３，Ｐ７の表４，Ｐ１０の表５，Ｐ１１の表６を参照。）

①高校卒業者 17.5%（ト）（前年度より0.6ポイント上昇）

②大学卒業者（学部） 69.8%（ナ）（前年度より2.5ポイント上昇）

③大学院修了者（修士課程） 74.4%（ニ）（前年度より0.7ポイント上昇）

④大学院修了者（博士課程） 66.0%（ヌ）（前年度より0.2ポイント上昇）

（４）大卒者（学部）のうち、安定的な雇用に使われていない者の占める割合（Ｐ７の表４）

大卒者の「就職者」のうち「正規の職員等でない者」と、「一時的な仕事に使われた者」及び「進学も就職もしていない者」の合計は10万5千人。

これらの安定的な雇用に使われていない者の卒業者に占める割合は18.6%（ネ）で、前年度より2.1ポイント低下。

（５）長期欠席者数（Ｐ１２の表７を参照。）

平成25年度間の長期欠席者（30日以上欠席者）のうち、「不登校」を理由とする児童生徒数は12万人。

①小学校 2万4千人（前年度より3千人増加）

②中学校 9万5千人（前年度より4千人増加）

（６）１年以上居所不明者数（Ｐ１３の図１５を参照。）

１年以上居所不明者数は383人（前年度より322人減少）で、３年連続減少傾向。

その他の主な結果は、別紙のとおり。

なお、詳細集計表は「政府統計の総合窓口（e-Stat）」のホームページに掲載。

（<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/NewList.do?tid=000001011528>）

<担当> 生涯学習政策局政策課調査統計企画室

室長 柳澤 好治（内線3476）

室長補佐 筒井 公章（内線2016）

学校基本調査係長 山本 典子（内線2264）

電話：03-5253-4111（代表） 03-6734-2264（直通）

平成26年度学校基本調査(確定値) 調査結果のポイント

I. 学校数, 在学者数, 教員数

1. 小学校, 中学校, 高等学校等

< 在学者数 >

- 幼稚園は, 155万7千人で, 前年度より2万6千人減少し, 平成に入ってから過去最低を更新。
- 小学校は, 前年度より7万7千人減少し, 過去最低を更新。
- 中学校は350万4千人で, 前年度より3万2千人減少し, 過去最低を更新。
- 高等学校は333万4千人で, 前年度より1万4千人増加。
- 特別支援学校は13万6千人で, 前年度より3千人増加し, 過去最高を更新。
- 専門学校(専修学校(専門課程))は, 58万9千人で, 前年度より2千人増加。5年連続で増加。

< 教員数 >

- 教員数のうち女性の教員数は, 高等学校と特別支援学校で過去最高を更新。また, 教員全体に占める女性の割合は中学校42.6%(前年度より0.1ポイント上昇), 高等学校31.0%(前年度より0.3ポイント上昇), 特別支援学校で60.6%(前年度より0.3ポイント上昇)で過去最高を更新。

表1 初等中等教育機関等の学校数, 在学者数, 教員数

区 分	学 校 数 (校)				在 学 者 数 (人)				教 員 数 (人)		
	総 数	国立	公立	私立	総 数	国立	公立	私立	総 数 (人)	うち女性(人)	女性の比率 (%)
幼 稚 園	(-138) 12,905	(-) 49	(-103) 4,714	(-35) 8,142	(-26,149) 1,557,461	(イ) (ア) 5,614	(-171) (イ) 264,563	(-9,601) (イ) 1,287,284	(-52) 111,059	(-90) 103,648	(-0.1) 93.3
小 学 校	(-279) 20,852	(-2) 72	(-278) 20,558	(1) 222	(-76,914) 6,600,006	(エ) (ウ) 41,067	(-1,026) (イ) 6,481,396	(-75,131) (イ) 77,543	(-1,078) 416,475	(-1,234) 259,875	(-0.1) 62.4
中 学 校	(-71) 10,557	(-) 73	(-77) 9,707	(6) 777	(-31,848) 3,504,334	(カ) (オ) 31,220	(-217) (イ) 3,227,314	(-28,012) (イ) 245,800	(-403) 253,832	(27) 108,148	(0.1) 42.6
高 等 学 校	(-18) 4,963	(-) 15	(-18) 3,628	(-) 1,320	(14,379) 3,334,019	(ク) (キ) 8,613	(28) (イ) 2,286,385	(-1,288) (イ) 1,039,021	(15,639) 235,306	(244) 72,830	(0.3) 31.0
中等教育学校	(1) 51	(-) 4	(1) 30	(-) 17	(1,273) 31,499	(146) (イ) 3,160	(1,290) (イ) 20,424	(-163) (イ) 7,915	(63) 2,432	(32) 797	(0.5) 32.8
特別支援学校	(16) 1,096	(-) 45	(16) 1,037	(-) 14	(3,047) 135,617	(コ) (ケ) 3,033	(-) (イ) 131,781	(3,043) (イ) 803	(1,617) 79,280	(1,206) 48,066	(0.3) 60.6
専 修 学 校	(-10) 3,206	(-) 10	(-1) 195	(-9) 3,001	(-626) 659,452	(-30) (イ) 450	(-228) (イ) 26,255	(-368) (イ) 632,747	(394) 40,774	(369) 21,376	(0.4) 52.4
うち高等課程 を置く学校	(-5) 438	(-1) 1	(-) 7	(-4) 430	(698) 40,057	(-) (イ) 23	(-22) (イ) 537	(720) (イ) 39,497	(1) 2,751	(-18) 1,529	(-0.7) 55.6
うち専門課程 を置く学校	(3) 2,814	(-) 10	(-1) 192	(4) 2,612	(1,558) 588,888	(タ) (イ) 335	(-26) (イ) 25,697	(-208) (イ) 562,856	(1,792) 36,718	(393) 19,555	(0.5) 53.3
各 種 学 校	(-54) 1,276	(-) —	(-1) 8	(-53) 1,268	(-1,044) 121,846	(-) —	(-158) (イ) 638	(-886) (イ) 121,208	(-22) 8,823	(21) 3,570	(0.4) 40.5

(注) 1 ()は, 前年度からの増減値である。

2 専修学校の「うち高等課程を置く学校」と「うち専門課程を置く学校」は延べ数であり, 高等課程と専門課程の両方を設置する専修学校はそれぞれの欄に1校ずつ計上している。

2. 大学, 短期大学, 高等専門学校

< 在学者数 >

○ 大学全体(学部・大学院・専攻科・別科の学生等を含む。)の在学者数については、長期的に見て増加傾向にあったが、平成23年度に過去最高になり、3年連続減少。

・大学全体 285万6千人で、前年度より1万3千人減少。

うち学部 255万2千人で、前年度より1万人減少。

うち大学院 25万1千人で、前年度より4千人減少。

○ 大学学部の女子学生は111万8千人で、前年度より4千人増加し、過去最高を更新。

その占める割合は、43. 8%(前年度より0. 3ポイント上昇)で過去最高を更新。

○ 短期大学学生は、平成5年度に過去最高になり、翌年度から減少し続け、平成に入ってから過去最低を更新。

< 教員数 >

○ 大学全体の女性の教員数は、4万1千人(前年度より2千人増加)で過去最高を更新。

また、教員全体に占める女性の割合は、22. 5%(前年度より0. 7ポイント上昇)で過去最高を更新。

表2 高等教育機関の学校数, 在学者数, 教員数

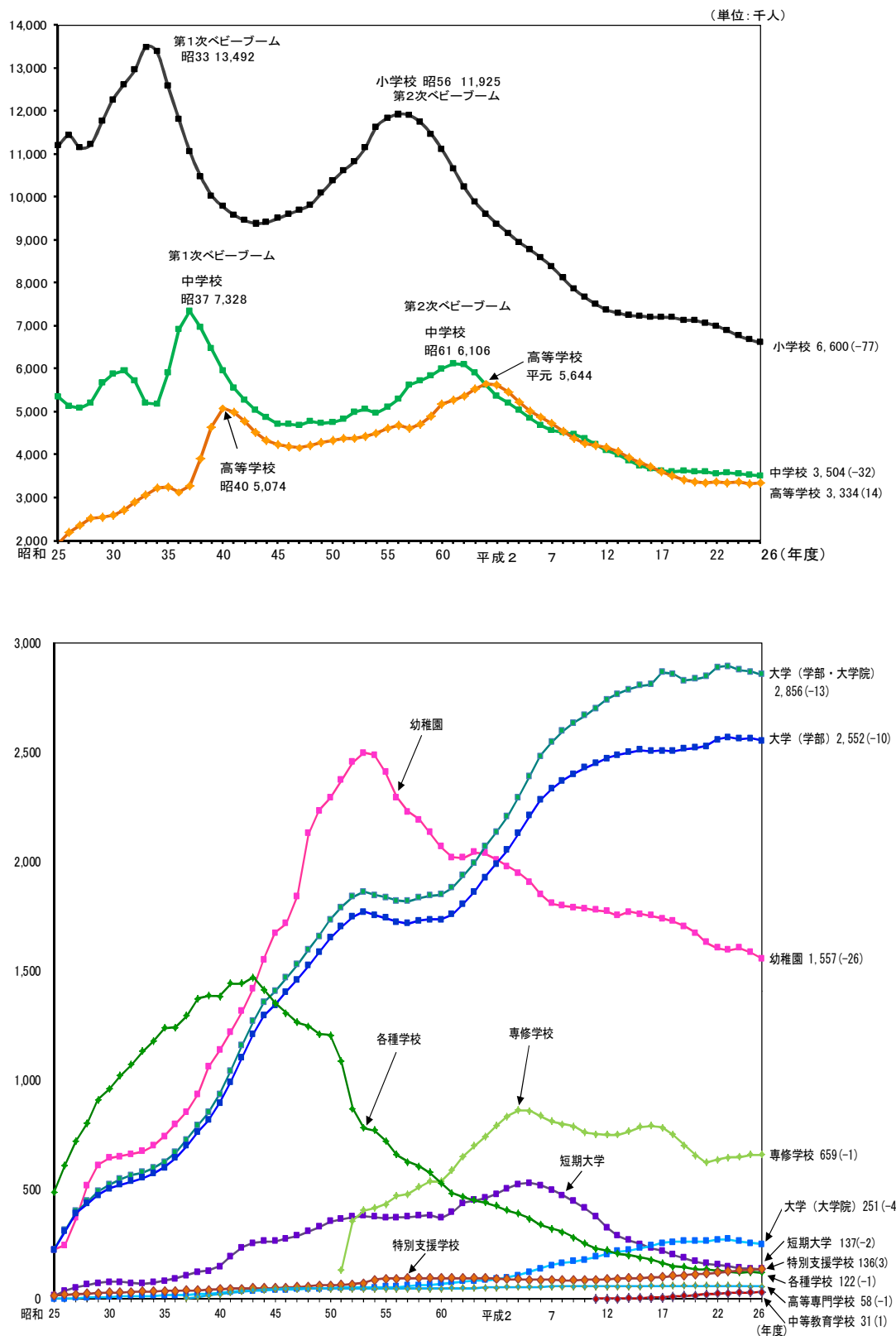
区 分	学 校 数 (校)				在 学 者 数						教 員 数		
	総 数	国 立	公 立	私 立	総 数 (人)	うち女子(人)	女子の比率 (%)	国 立 (人)	公 立 (人)	私 立 (人)	総 数 (人)	うち女性(人)	女性の比率 (%)
大 学	(-1)	(-)	(2)	(-3)	(-13,343)	(4,079)	(0.3)	(-2,274)	(1,882)	(-12,951)	(2,210)	(1,714)	(0.7)
	781	86	92	603	2,855,529	1,220,091	42.7	612,509	148,042	2,094,978	180,879	40,744	22.5
うち 学 部	(-1)	(-)	(1)	(-2)	(-10,046)	(3,966)	(0.3)	(-635)	(1,734)	(-11,145)			
	751	82	87	582	2,552,022	1,117,778	43.8	447,338	128,878	1,975,806			
うち 大 学 院	(-1)	(-)	(3)	(-4)	(-4,373)	(-755)	(0.2)	(-2,002)	(-90)	(-2,281)			
	623	86	77	460	251,013	77,645	30.9	150,336	16,071	84,606			
うち 修 士 課 程	(4)	(-)	(4)	(-)	(-2,764)	(-424)	(0.3)	(-1,265)	(-171)	(-1,328)			
	591	86	74	431	159,929	48,235	30.2	93,403	10,514	56,012			
うち 博 士 課 程	(2)	(-)	(-)	(2)	(-213)	(-86)	(-)	(-375)	(107)	(55)			
	437	77	55	305	73,704	24,320	33.0	50,686	4,789	18,229			
うち 専 門 職 業 課 程	(-)	(-)	(-)	(-)	(-1,396)	(-245)	(0.9)	(-362)	(-26)	(-1,008)			
	126	45	6	75	17,380	5,090	29.3	6,247	768	10,365			
うち 法 科 大 学 院	(-)	(-)	(-)	(-)	(-1,343)	(-370)	(-)	(-279)	(-40)	(-1,024)			
	73	23	2	48	6,919	1,911	27.6	2,864	204	3,851			
短 期 大 学	(-7)	(-)	(-1)	(-6)	(-1,726)	(-1,454)	(-)	(-)	(-261)	(-1,465)	(-193)	(-71)	(0.4)
	352	-	18	334	136,534	120,722	88.4	-	7,388	129,146	8,438	4,359	51.7
高 等 専 門 学 校	(-)	(-)	(-)	(-)	(-549)	(91)	(0.3)	(-565)	(-47)	(63)	(8)	(20)	(0.5)
	57	51	3	3	57,677	9,772	16.9	51,725	3,834	2,118	4,344	376	8.7

(注) 1 ()は、前年度からの増減値である。

2 在学者数には、学部学生・本科学士のほか、専攻科・別科の学生、科目等履修生等を含む。

3 学校数のうち数については、在学者がいる学校数を計上している。

【参考】各学校段階ごとの在学者数の推移(図1)



- (注) 1 ()内の数は、前年度からの増減値(単位:千人)である。
 2 特別支援学校は、平成18年度以前は盲学校、聾学校及び養護学校の計である。
 3 大学の在学者には、学部学生、大学院学生のほか、専攻科・別科の学生、科目等履修生等を含む。

Ⅱ. 卒業後の状況

1. 高等学校(全日制・定時制)卒業生(中等教育学校後期課程を含む。以下同じ。)

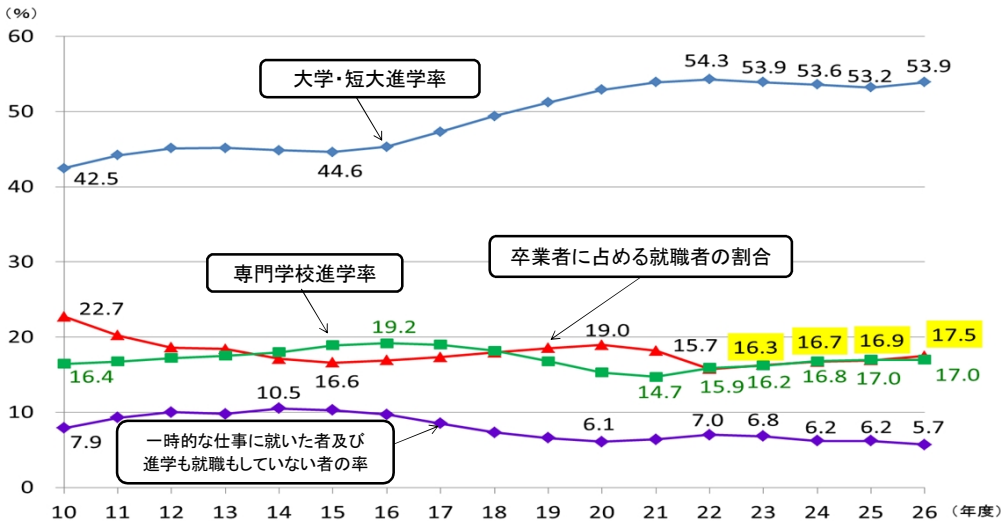
- 卒業生に占める就職者の割合は、4年連続で上昇し、17.5%(前年度より0.6ポイント上昇)。
- 大学(学部)進学率(過年度卒を含む)は51.5%で、前年度より1.6ポイント上昇して過去最高。(P6の図5参照。)
- 高等教育機関への進学率(過年度卒を含む)も80.0%で、前年度より2.1ポイント上昇して過去最高。(P6の図5参照。)
- 大学・短大入学志願率は横ばいで、60.4%(前年度と同じ)。(P5の図4参照。)
- 専門学校進学率は横ばいで、17.0%(前年度と同じ)。

表3 高等学校卒業後の状況

区 分	卒業生	大学・短大進学率(率)		専門学校進学率(率)	就職者 (卒業生に占める 就職者の割合)	一時的な仕事に 就いた者(率)	進学も就職も していない者(率)	その他(率)
		大学・短大進学率(率)	うち大学(学部)進学率 (率)					
平成17年3月	1,203,251	568,710 (47.3)	473,263 (39.3)	228,867 (19.0)	208,747 (17.3)	22,855 (1.9)	78,922 (6.6)	97,145 (8.1)
18年3月	1,172,087	578,525 (49.4)	490,242 (41.8)	213,122 (18.2)	210,442 (18.0)	19,232 (1.6)	66,434 (5.7)	85,956 (7.3)
19年3月	1,148,108	587,999 (51.2)	505,951 (44.1)	193,156 (16.8)	212,635 (18.5)	16,358 (1.4)	59,962 (5.2)	79,491 (6.9)
20年3月	1,089,188	575,659 (52.9)	500,631 (46.0)	167,092 (15.3)	206,628 (19.0)	12,862 (1.2)	53,757 (4.9)	74,452 (6.8)
21年3月	1,065,412	574,333 (53.9)	503,840 (47.3)	156,363 (14.7)	193,615 (18.2)	13,592 (1.3)	54,678 (5.1)	74,035 (6.9)
22年3月	1,071,422	582,272 (54.3)	513,013 (47.9)	170,352 (15.9)	168,727 (15.7)	15,560 (1.5)	59,703 (5.6)	76,112 (7.1)
23年3月	1,064,074	573,679 (53.9)	507,509 (47.7)	172,200 (16.2)	173,566 (16.3)	14,994 (1.4)	56,965 (5.4)	73,865 (6.9)
24年3月	1,056,387	565,779 (53.6)	503,545 (47.7)	177,486 (16.8)	176,931 (16.7)	13,892 (1.3)	51,922 (4.9)	71,384 (6.8)
25年3月	1,091,614	581,144 (53.2)	517,416 (47.4)	185,588 (17.0)	184,656 (16.9)	13,623 (1.2)	53,951 (4.9)	73,637 (6.7)
26年3月	1,051,343	566,309 (53.9)	505,240 (48.1)	178,735 (17.0)	183,635 (17.5)	11,957 (1.1)	47,795 (4.5)	63,793 (6.1)
		(チ)	(ツ)	(テ)	(ト)			

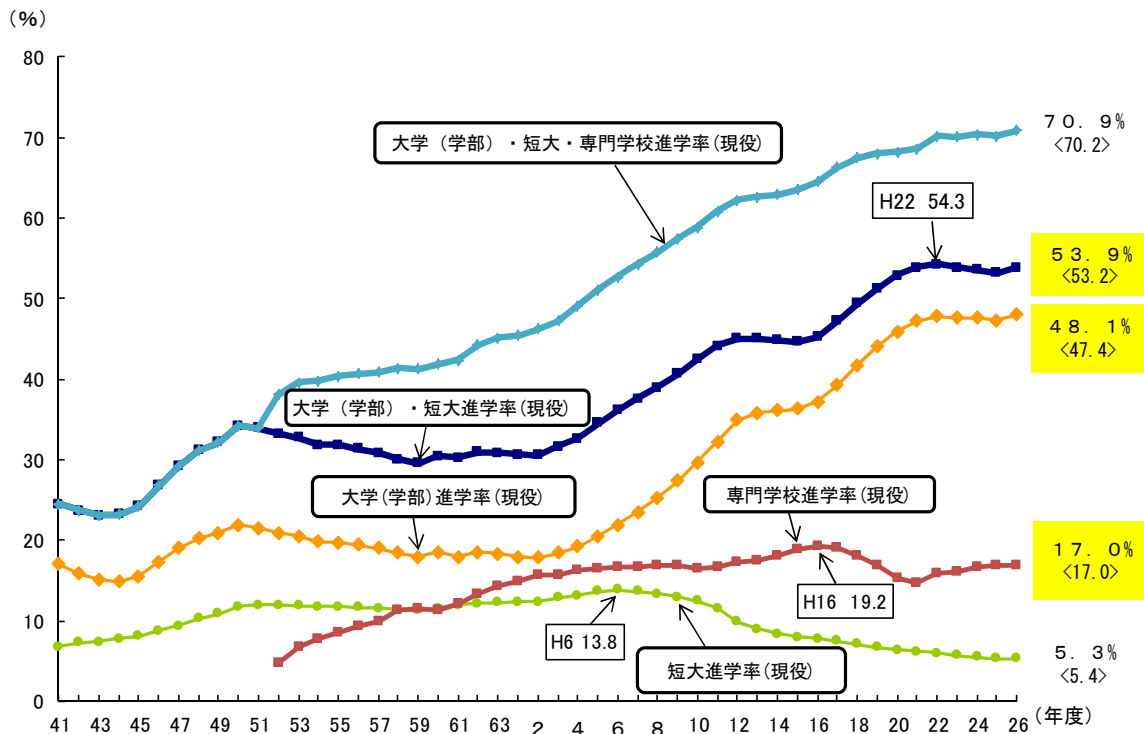
- (注) 1 「就職者」には、大学・短大、専門学校等に進学した者のうち就職している者(881人)を含む。
- 2 大学・短大進学率 =
$$\frac{\text{大学の学部、短期大学の本科、大学・短期大学の通信教育部、同別科及び高等学校・特別支援学校高等部の専攻科に進学した者}}{\text{各年3月の高等学校卒業生及び中等教育学校後期課程卒業生}}$$
- 3 卒業生に占める就職者の割合 =
$$\frac{\text{就職者}}{\text{各年3月の高等学校卒業生及び中等教育学校後期課程卒業生}}$$
- 4 「その他」には、専修学校(一般課程)等入学者、公共職業能力開発施設等入学者、不詳・死亡の者を含む。

(1) 就職状況
高等学校卒業生に占める就職者の割合の推移(図2)



(2)進学状況

①高等学校卒業者の進学率の推移(現役進学率)(図3)

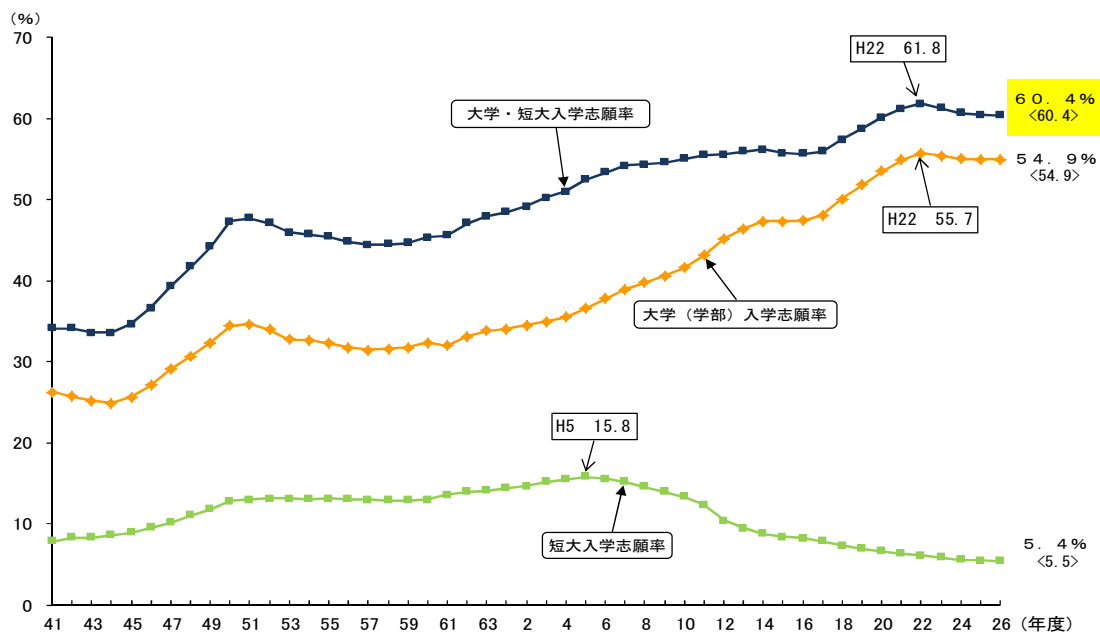


(注) 1 <>は前年度の数値である(以下同じ)。

2 図中の枠囲いは、最高値である(以下同じ)。

3 大学(学部)・短大進学率(現役) =
$$\frac{\text{大学の学部, 短期大学の本科, 大学・短期大学の通信教育部, 同別科及び高等学校・特別支援学校高等部専攻科に進学した者}}{\text{各年3月の高等学校卒業者及び中等教育学校後期課程卒業者}}$$

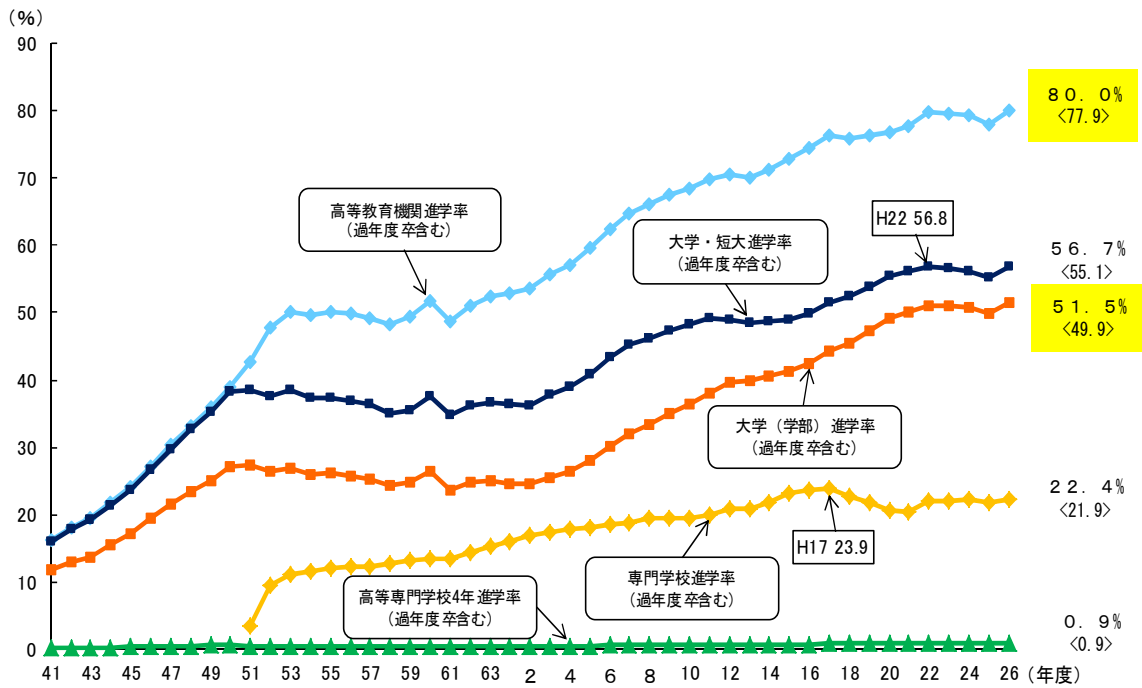
②入学志願率の推移(図4)



(注) 1 入学志願率(現役) =
$$\frac{\text{入学志願者数(実数)}}{\text{各年3月の高等学校卒業者及び中等教育学校後期課程卒業者}}$$

2 入学志願者数は、高等学校卒業者及び中等教育学校後期課程卒業者のうち、大学や短大へ願書を提出した者の実数。同一人が2校(学部・学科)以上に願書を提出した場合も1名として計上。

③過年度卒業者を含めた進学率(就学率)の推移(図5)



- (注) 1 高等教育機関進学率(就学率) = $\frac{\text{大学・短期大学入学者, 高等専門学校4年在学者及び専門学校入学者}}{\text{18歳人口(3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者)}}$
- 2 大学(学部)進学率(就学率) = $\frac{\text{大学(学部)の入学者}}{\text{18歳人口(3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者)}}$

3. 大学(学部)卒業者

- 大学院等への進学率はゆるやかな上昇傾向にあったが、平成22年度をピークに、4年連続低下し、12.6%(前年度より0.4ポイント低下)。
- 卒業者に占める就職者の割合は、平成22年度に急激に低下したが、その後4年連続で上昇し、69.8%(前年度より2.5ポイント上昇)。
- 「正規の職員等でない者」と「一時的な仕事に就いた者」、「進学も就職もしていない者」を合算すると、10万5千人となり、安定的な雇用に就いていない者の卒業者に占める割合は、18.6%で、前年度より2.1ポイント低下。

表4 大学(学部)卒業後の状況

(人(%))									
区 分	卒業者	進学者(率)	就職者 (卒業者に占める 就職者の割合)	うち正規の 職員等 でない者 (率) A	一時的な仕事に 就いた者(率) B	進学も就職も していない者(率) C	その他(率)	安定的な雇用 に就いていない者(率) A+B+C	
平成17年3月	551,016	78,169 (14.2)	329,125 (59.7)	...	19,507 (3.5)	97,994 (17.8)	26,301 (4.8)	...	...
18年3月	558,184	79,337 (14.2)	355,820 (63.7)	...	16,659 (3.0)	82,009 (14.7)	24,401 (4.4)	...	...
19年3月	559,090	77,165 (13.8)	377,776 (67.6)	...	13,287 (2.4)	69,296 (12.4)	21,608 (3.9)	...	...
20年3月	555,690	76,343 (13.7)	388,480 (69.9)	...	11,485 (2.1)	59,791 (10.8)	19,654 (3.5)	...	...
21年3月	559,539	78,265 (14.0)	382,485 (68.4)	...	12,991 (2.3)	67,894 (12.1)	17,955 (3.2)	...	...
22年3月	541,428	86,039 (15.9)	329,190 (60.8)	...	19,332 (3.6)	87,174 (16.1)	19,751 (3.6)	...	...
23年3月	552,358	82,657 (15.0)	340,217 (61.6)	...	19,107 (3.5)	88,007 (15.9)	22,444 (4.1)	...	...
24年3月	558,692	76,856 (13.8)	357,088 (63.9)	21,993 (3.9)	19,569 (3.5)	86,566 (15.5)	18,690 (3.3)	128,128	(22.9)
25年3月	558,853	72,822 (13.0)	375,957 (67.3)	22,782 (4.1)	16,736 (3.0)	75,929 (13.6)	17,507 (3.1)	115,447	(20.7)
26年3月	565,573	71,387 (12.6)	394,845 (69.8)	22,276 (3.9)	14,519 (2.6)	68,484 (12.1)	16,415 (2.9)	105,279	(18.6)

(注) 1 卒業者数は、表章された内訳のほか、臨床研修医(予定者含む)(平成26年度8,899人)を含めた合計。
2 「就職者」とは、給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を得る仕事(自家・自営業を含む)に就いた者をいう。
なお、就職者には、「大学院等への進学者のうち就職している者」(77人)を含む。
3 就職者のうち、「正規の職員等でない者」とは、雇用の期間が1年以上で期間の定めのある者で、かつ1週間の所定労働時間が30～40時間の者をいう。(P9参照)

4 進学率 = $\frac{\text{大学院研究科、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科、別科、専修学校、外国の学校へ入学した者}}{\text{各年3月の大学学部卒業者}}$

5 卒業者に占める就職者の割合 = $\frac{\text{就職者}}{\text{各年3月の大学学部卒業者}}$

6 「その他」には、臨床研修医(予定者を含む)、不詳・死亡の者を含む。

図6 大学(学部)卒業者に占める就職者の割合等の推移

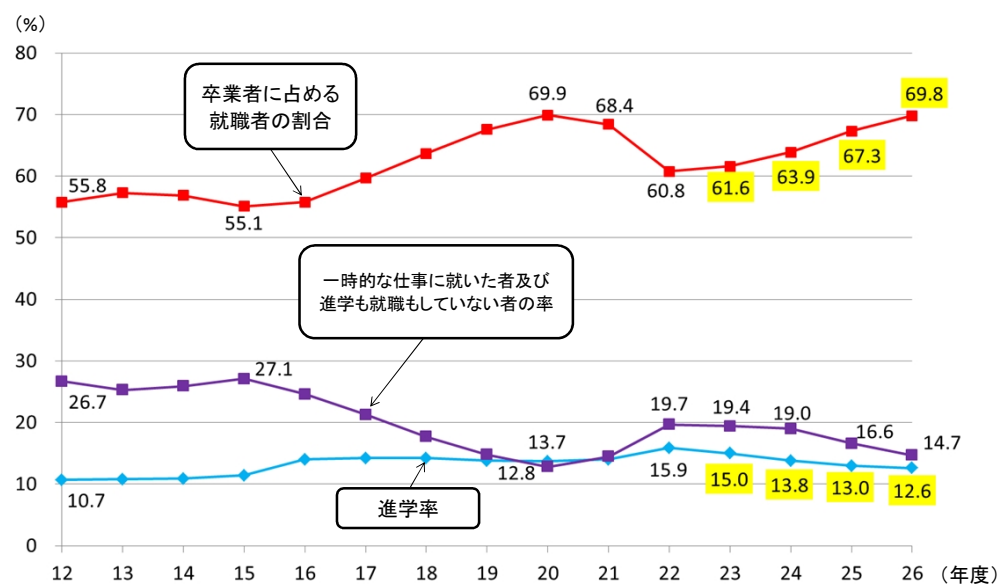
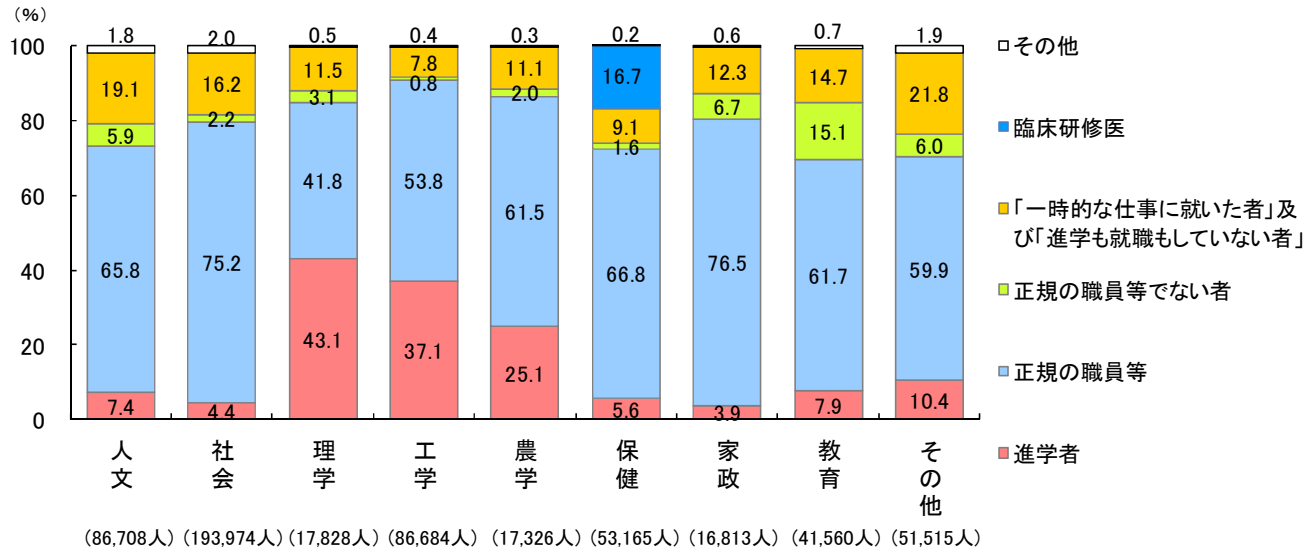
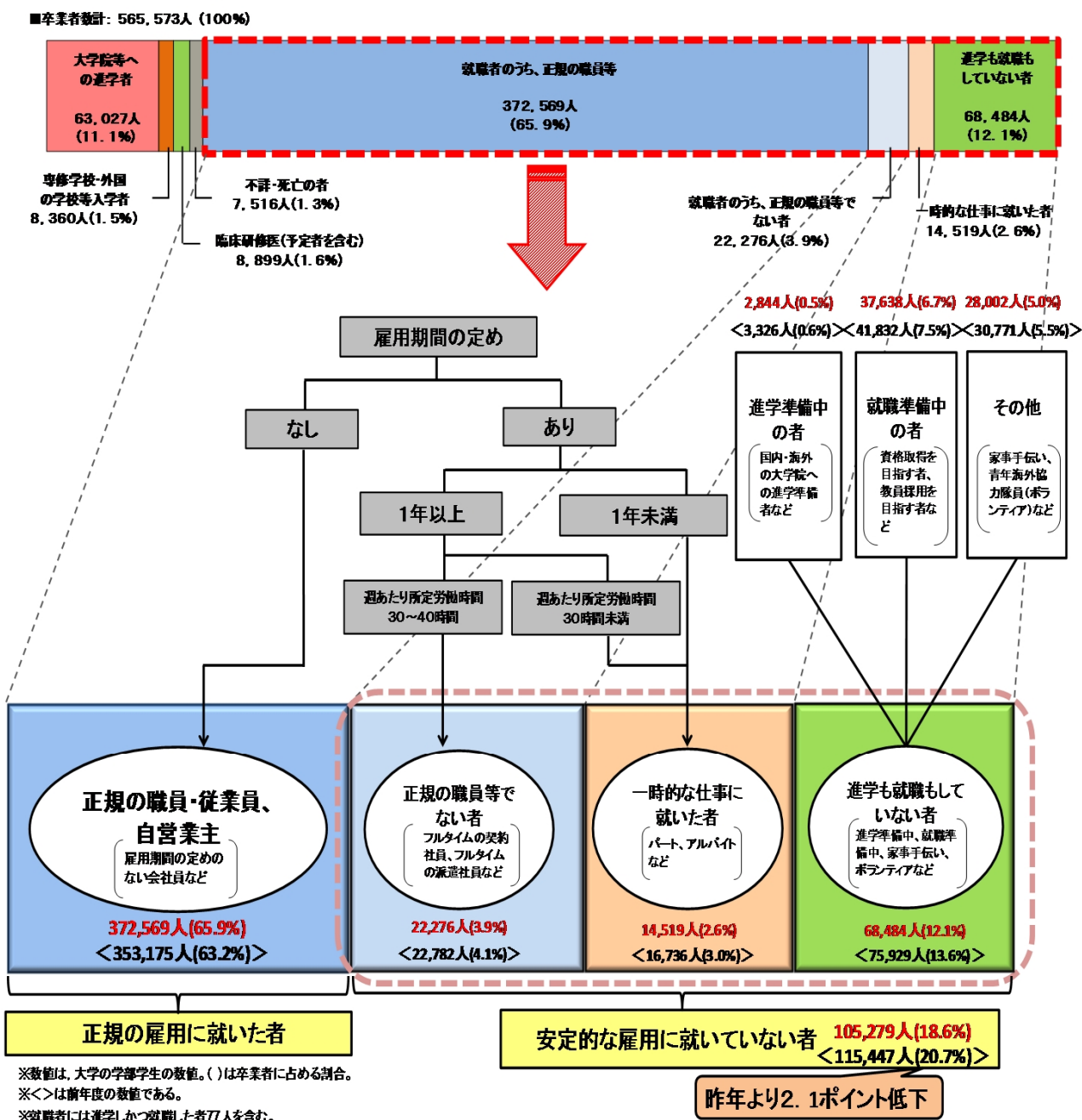


図7 分野別の卒業者の状況

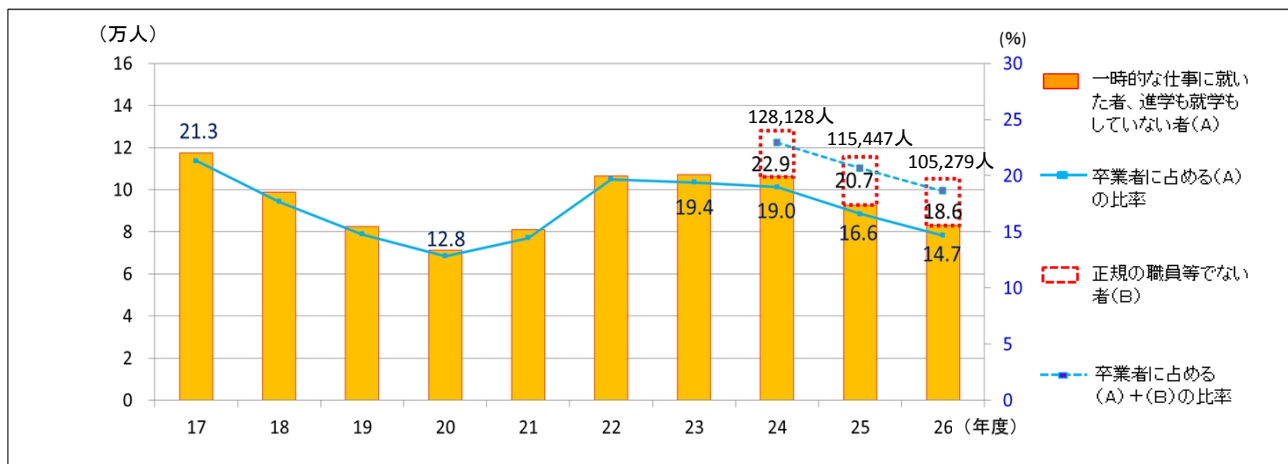


- (注) 1 各項目の数値は卒業者に対する比率である。
 2 端数を四捨五入しているため、各項目の計が100にならない場合がある。
 また、就職者には進学しかつ就職した者を含むため、各項目の計が100を超える場合がある。
 3 教育分野の正規の職員等でない者には、教員の臨時的任用を含む。

【参考】「就職者」の「正規の職員等」「正規の職員等でない者」「一時的な仕事に就いた者」「進学も就職もしていない者」の関係(図8)



【参考】一時的な仕事に就いた者、進学も就職もしていない者の推移(図9)



4. 修士課程修了者

○ 修了者に占める就職者の割合は4年連続で上昇し、74.4%(前年度より0.7ポイント上昇)。

表5 修士課程修了者の卒業後の状況

区 分	修了者	大学院等進学者(率)	就職者 (修了者に占める 就職者の割合)	(人、(率))		一時的な仕事に 就いた者(率) B	進学も就職も していない者(率) C	不詳・死亡(率)	安定的な雇用に就 いていない者(率) A+B+C
				うち正規の 職員等 でない者	(率) A				
平成17年3月	71,440	9,834 (13.8)	48,357 (67.7)	...	...	1,002 (1.4)	9,673 (13.5)	2,731 (3.8)	...
18年3月	72,531	9,560 (13.2)	50,782 (70.0)	...	...	1,023 (1.4)	8,618 (11.9)	2,712 (3.7)	...
19年3月	73,993	8,918 (12.1)	53,638 (72.5)	...	...	969 (1.3)	8,197 (11.1)	2,472 (3.3)	...
20年3月	73,881	8,348 (11.3)	55,480 (75.1)	...	...	961 (1.3)	7,150 (9.7)	2,158 (2.9)	...
21年3月	73,811	8,379 (11.4)	55,243 (74.8)	...	...	944 (1.3)	7,411 (10.0)	2,053 (2.8)	...
22年3月	73,220	9,101 (12.4)	52,278 (71.4)	...	...	1,099 (1.5)	8,687 (11.9)	2,281 (3.1)	...
23年3月	74,680	8,508 (11.4)	54,188 (72.6)	...	...	997 (1.3)	9,048 (12.1)	2,121 (2.8)	...
24年3月	78,711	8,123 (10.3)	57,659 (73.3)	2,455 (3.1)	...	1,199 (1.5)	10,266 (13.0)	1,692 (2.1)	13,920 (17.7)
25年3月	76,511	7,972 (10.4)	56,381 (73.7)	2,418 (3.2)	...	1,270 (1.7)	9,540 (12.5)	1,565 (2.0)	13,228 (17.3)
26年3月	73,154	7,691 (10.5)	54,450 (74.4)	2,323 (3.2)	...	1,177 (1.6)	8,751 (12.0)	1,288 (1.8)	12,251 (16.7)

(注) 「就職者」には、進学しかつ就職した者(203人)を含む。
図10 修士課程修了者に占める就職者の割合等の推移

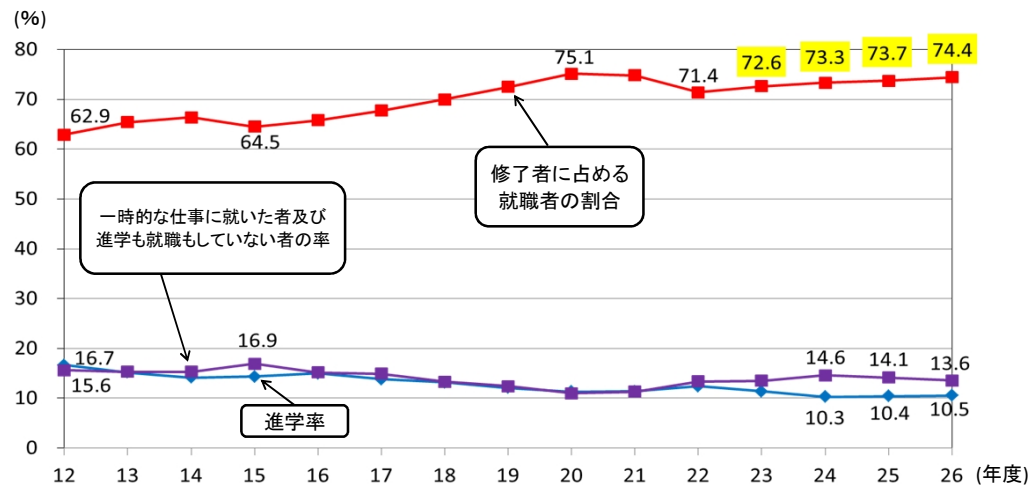
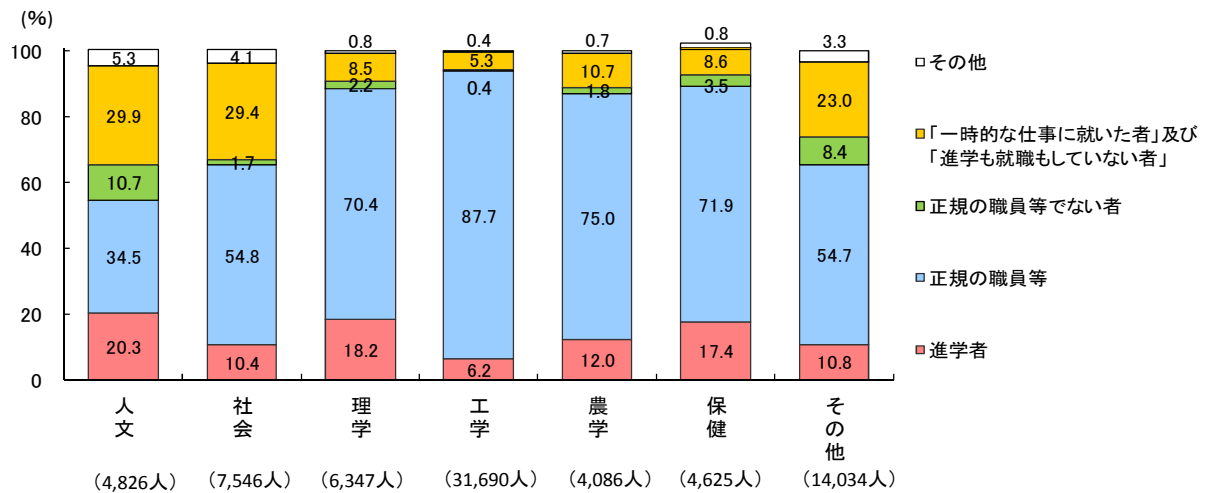


図11 専攻分野別の卒業後の状況



5. 博士課程修了者

○ 修了者に占める就職者の割合は66. 0%(前年度より0. 2ポイント上昇)。

表6 博士課程修了者の卒業後の状況

区 分	修了者	就職者 (修了者に占める 就職者の割合)		一時的な仕事に 就いた者 (率) B	進学も就職も していない者 (率) C	その他 (率)	安定的な雇用 に就いていない者 (率) A + B + C	
		うち正規の 職員等で ない者	(率) A					
平成17年 3 月	15, 286	8, 746 (57. 2)	…	753 (4. 9)	3, 950 (25. 8)	1, 860 (12. 2)	…	…
18年 3 月	15, 973	9, 167 (57. 4)	…	730 (4. 6)	4, 216 (26. 4)	1, 878 (11. 8)	…	…
19年 3 月	16, 801	9, 885 (58. 8)	…	808 (4. 8)	4, 146 (24. 7)	1, 975 (11. 8)	…	…
20年 3 月	16, 281	10, 288 (63. 2)	…	695 (4. 3)	3, 340 (20. 5)	2, 007 (12. 3)	…	…
21年 3 月	16, 463	10, 579 (64. 3)	…	636 (3. 9)	3, 386 (20. 6)	1, 904 (11. 6)	…	…
22年 3 月	15, 842	9, 812 (61. 9)	…	950 (6. 0)	3, 171 (20. 0)	1, 949 (12. 3)	…	…
23年 3 月	15, 892	10, 160 (63. 9)	…	1, 022 (6. 4)	2, 867 (18. 0)	1, 853 (11. 7)	…	…
24年 3 月	16, 260	10, 937 (67. 3)	2, 408 (14. 8)	855 (5. 3)	3, 003 (18. 5)	1, 534 (9. 4)	6, 266 (38. 5)	
25年 3 月	16, 445	10, 828 (65. 8)	2, 521 (15. 3)	998 (6. 1)	3, 082 (18. 7)	1, 556 (9. 5)	6, 601 (40. 1)	
26年 3 月	16, 003	10, 563 (66. 0)	2, 517 (15. 7)	1, 019 (6. 4)	3, 159 (19. 7)	1, 285 (8. 0)	6, 695 (41. 8)	
うちポスト ドクター等	<1,554>	…	<789>	<348>	<417>	…	<1,554>	

- (注) 1 博士課程の「修了者」には、所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得した後、学位を取得せずに満期退学した者を含む(以下同じ)。
- 2 ポストドクター等とは、博士の学位を取得した者又は所定の単位を修得の上博士課程を退学した者(いわゆる「満期退学者」)のうち、任期付きで採用されている者で、
- ① 大学や大学共同利用機関で研究業務に従事している者であって、教授・准教授・助教・助手等の学校教育法第92条に基づく教育・研究に従事する職にない者
- ② 独立行政法人等の公的機関(国立試験研究機関、公的試験研究機関含む。)において研究業務に従事している者のうち、所属する研究グループのリーダー・主任研究員等の管理的な職にない者
- 3 ポストドクター等のうち、「正規の職員等でない者」は1年以上の雇用契約かつフルタイム勤務相当の典型的なポストドクター、「一時的な仕事に就いた者」は1年未満の雇用契約又は短時間勤務の研究員、「進学も就職もしていない者」は無給の研究員が想定される。
- 4 ポストドクターは年度の途中に採用される例もあり、年間を通じての採用者は上記の数より増えることが見込まれる。
- 5 「就職者」には、進学しかつ就職した者(23人)を含む。
- 6 「その他」には、大学院等への進学者、臨床研修医(予定者を含む)、専修学校・外国の学校等入学者、不詳・死亡の者を含む。

図12 博士課程修了者に占める就職者の割合等の推移

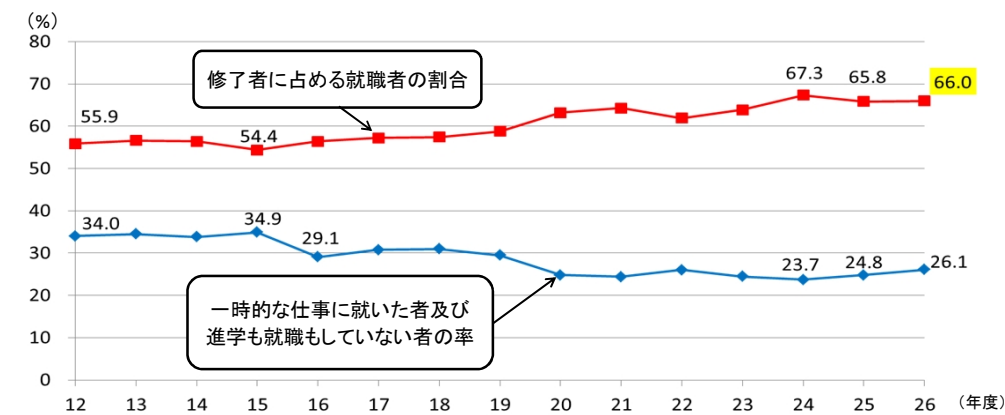
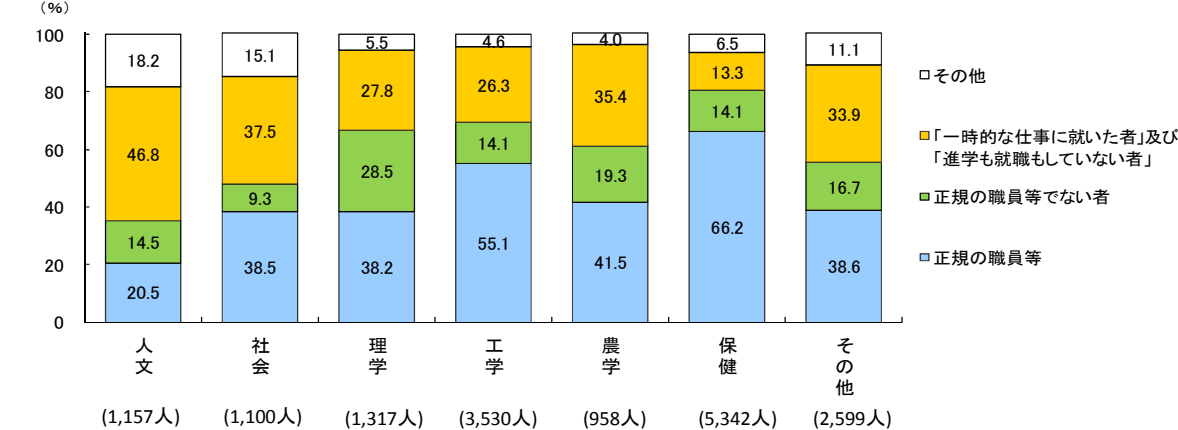


図13 専攻分野別の卒業後の状況



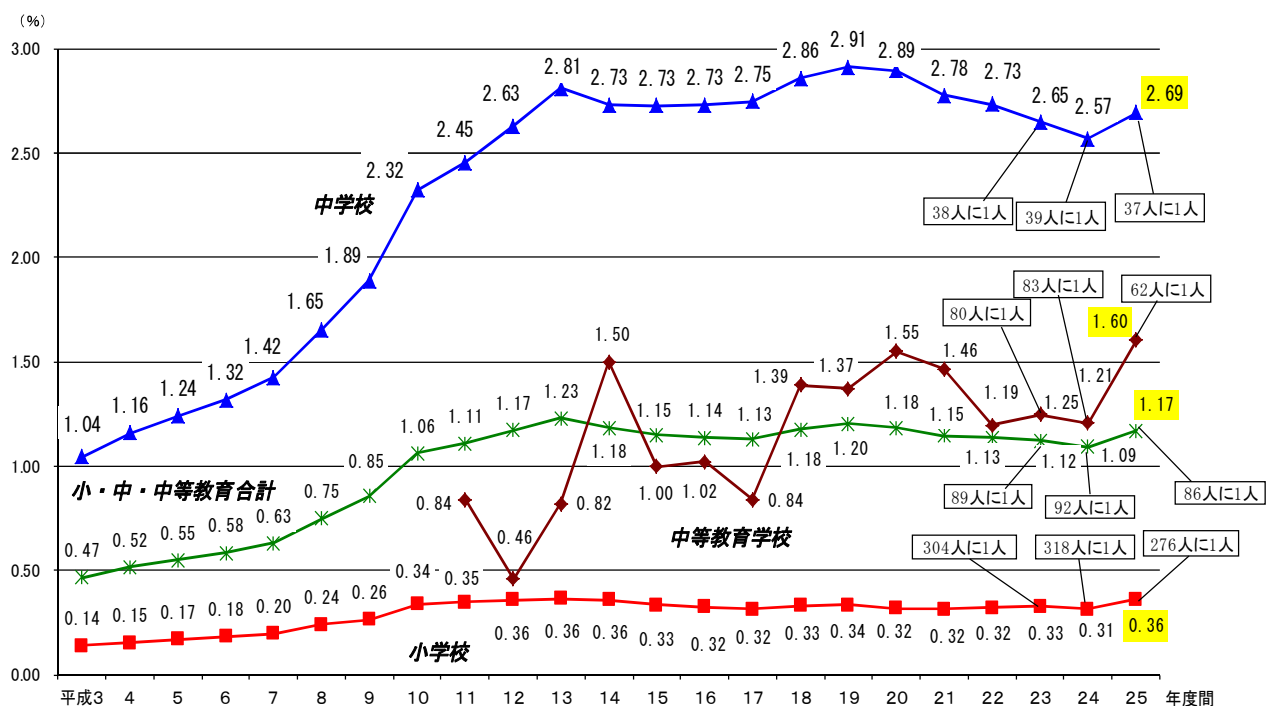
Ⅲ 長期欠席者数の状況

○ 平成25年度間の長期欠席者(30日以上欠席者)のうち、「不登校」を理由とする児童生徒数は、小学校は2万4千人(前年度より3千人増加)、中学校は9万5千人(前年度より4千人増加)。

表7 理由別長期欠席者数のうち「不登校」を理由とする児童生徒数の推移

区 分	合 計			小 学 校			中 学 校			中等教育学校（前期課程）		
	計	うち「不登校」	全児童生徒数に占める「不登校」の比率	計	うち「不登校」	全児童数に占める「不登校」の比率	計	うち「不登校」	全生徒数に占める「不登校」の比率	計	うち「不登校」	全生徒数に占める「不登校」の比率
	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)
平成3年度間	168,303	66,817	0.47	65,234	12,645	0.14	103,069	54,172	1.04	...	...	...
4	179,121	72,131	0.52	70,746	13,710	0.15	108,375	58,421	1.16	...	...	...
5	175,603	74,808	0.55	67,517	14,769	0.17	108,086	60,039	1.24	...	...	...
6	183,199	77,449	0.58	70,598	15,786	0.18	112,601	61,663	1.32	...	...	...
7	187,825	81,591	0.63	71,047	16,569	0.20	116,778	65,022	1.42	...	...	...
8	208,443	94,351	0.75	78,096	19,498	0.24	130,347	74,853	1.65	...	...	...
9	223,334	105,466	0.85	81,173	20,765	0.26	142,161	84,701	1.89	...	...	...
10	227,991	127,692	1.06	82,807	26,017	0.34	145,184	101,675	2.32	...	...	...
11	221,179	130,228	1.11	78,428	26,047	0.35	142,750	104,180	2.45	1	1	0.84
12	223,577	134,290	1.17	78,044	26,373	0.36	145,526	107,913	2.63	7	4	0.46
13	225,782	138,733	1.23	77,215	26,511	0.36	148,547	112,211	2.81	20	11	0.82
14	204,143	131,281	1.18	68,099	25,869	0.36	136,013	105,383	2.73	31	29	1.50
15	193,361	126,257	1.15	62,146	24,077	0.33	131,181	102,149	2.73	34	31	1.00
16	187,023	123,398	1.14	59,305	23,318	0.32	127,658	100,040	2.73	60	40	1.02
17	187,713	122,327	1.13	59,053	22,709	0.32	128,596	99,578	2.75	64	40	0.84
18	196,719	126,890	1.18	61,095	23,825	0.33	135,472	102,957	2.86	152	108	1.39
19	199,295	129,255	1.20	60,236	23,927	0.34	138,882	105,197	2.91	177	131	1.37
20	191,692	126,805	1.18	55,674	22,652	0.32	135,804	103,985	2.89	214	168	1.55
21	180,863	122,432	1.15	52,437	22,327	0.32	128,210	99,923	2.78	216	182	1.46
22	177,370	119,891	1.13	52,594	22,463	0.32	124,544	97,255	2.73	232	173	1.19
23	176,673	117,458	1.12	54,340	22,622	0.33	122,053	94,637	2.65	280	199	1.25
24	175,769	112,689	1.09	53,952	21,243	0.31	121,509	91,249	2.57	308	197	1.21
25	181,320	119,617	1.17	55,486	24,175	0.36	125,465	95,181	2.69	369	261	1.60

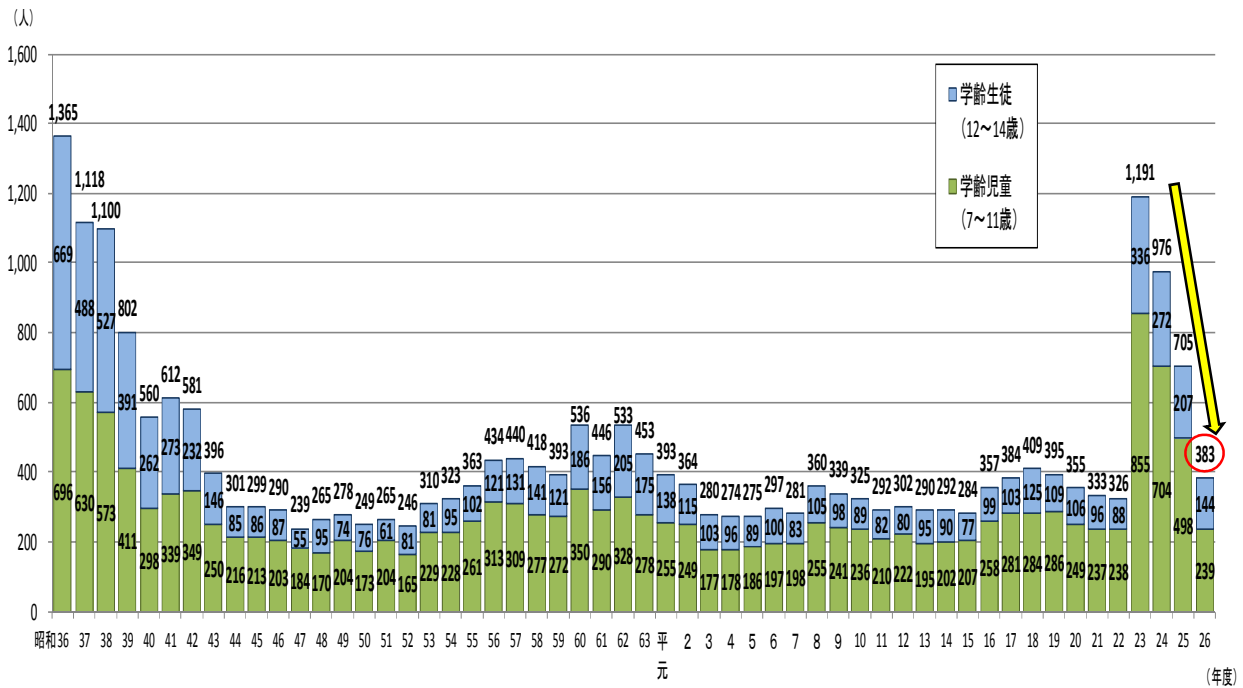
図14 「不登校」を理由とする者の全児童生徒数に占める割合の推移



IV 1年以上居所不明者数の状況

○ 1年以上居所不明者数は383人で、平成23年度調査以降、3年連続で減少傾向。

図15 1年以上居所不明者数の推移



【参考】岩手県、宮城県、福島県の状況

1. 在学者数の推移

○ 震災後の3県の在学者数については、緩やかな減少傾向。

図16 小学校

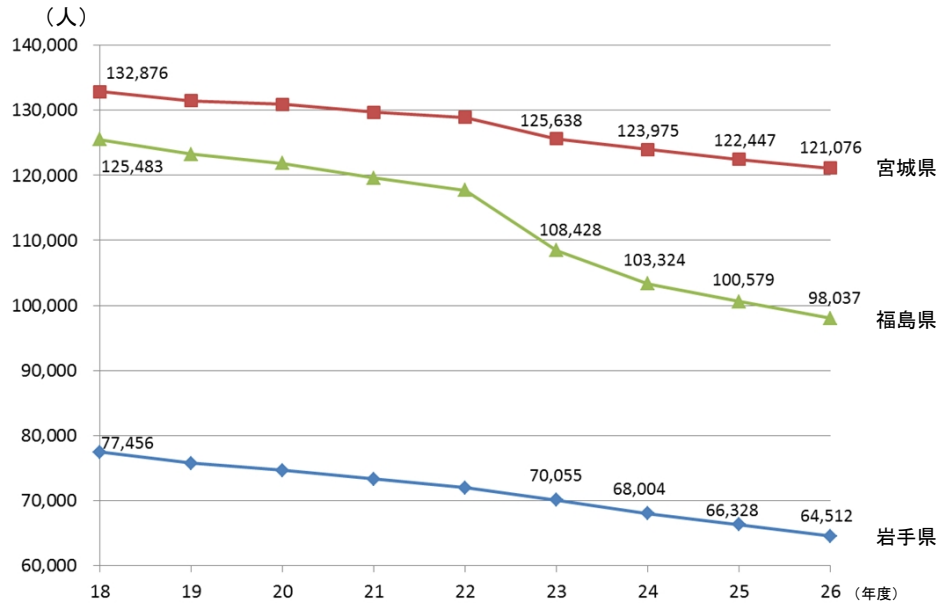
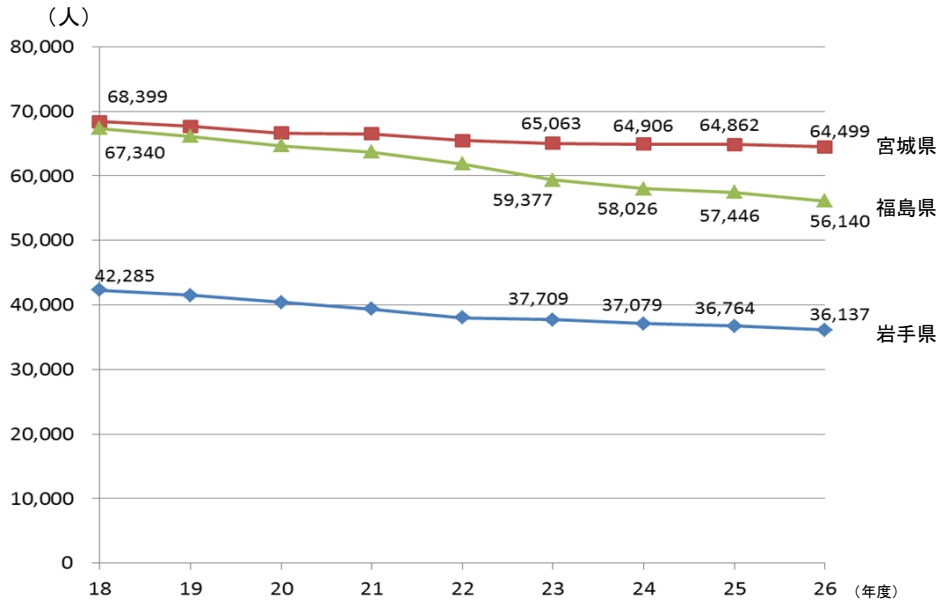


図17 中学校



2. 卒業後の状況

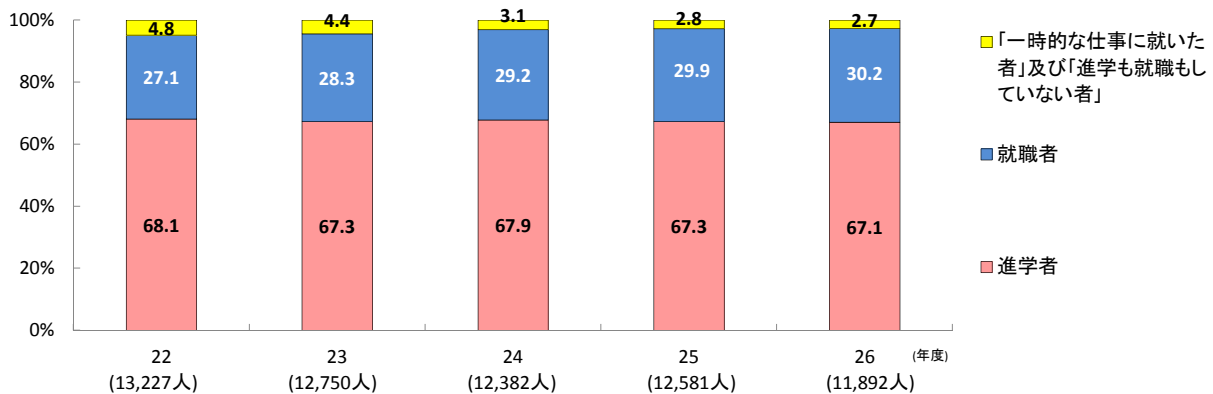
高等学校(中等教育学校後期課程含む)卒業者の状況の推移

- 岩手県、宮城県については、卒業者に占める就職者の割合が4年連続で上昇している。
福島県については、進学者の割合が3年連続で上昇している。

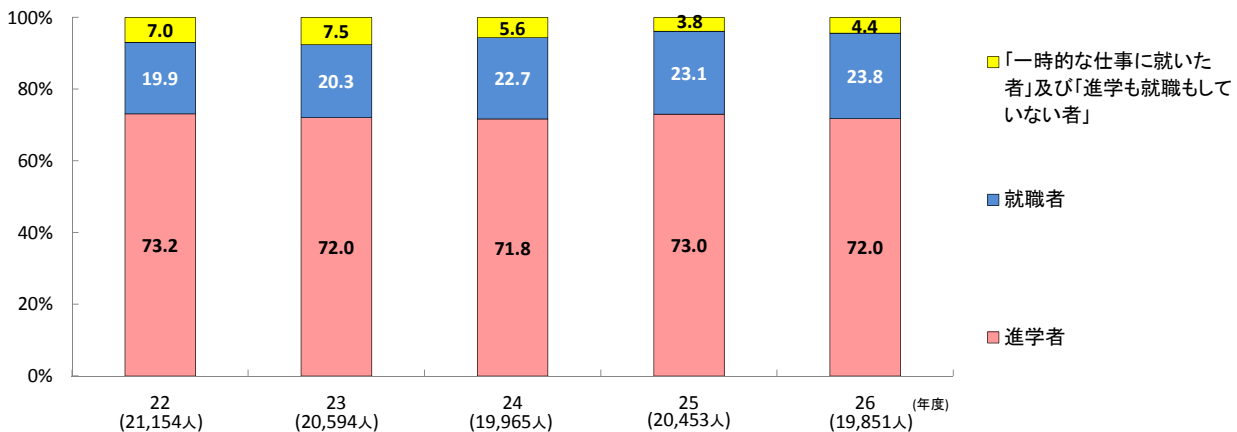
※全国平均値は、進学者76.9%(うち、大学・短大進学者(現役)53.9%)、就職者17.5%、一時的な仕事に就いた者及び進学も就職もしていない者5.7%である。

(注)進学者とは、大学の学部、短期大学の本科、大学・短期大学の通信教育部、同別科、高等学校・特別支援学校高等部専攻科及び専修学校専門課程に進学した者、専修学校一般課程、各種学校、公共職業能力開発施設等入学者をいう(以下同じ)。

①岩手県(図18)



②宮城県(図19)



③福島県(図20)

